

演習 5 - 開発者ポータルの利用

この演習では、API利用者として、開発者ポータルがどのように利用できるのかを確認します。

演習 5 - 目的

この演習では、以下の内容を理解できます。

- 開発者ポータルの有効化方法
- アプリケーションの登録方法
- プランへのサブスクライブの方法
- 開発者ポータルからのAPIのテスト方法

5.1 - 開発者ポータルの有効化

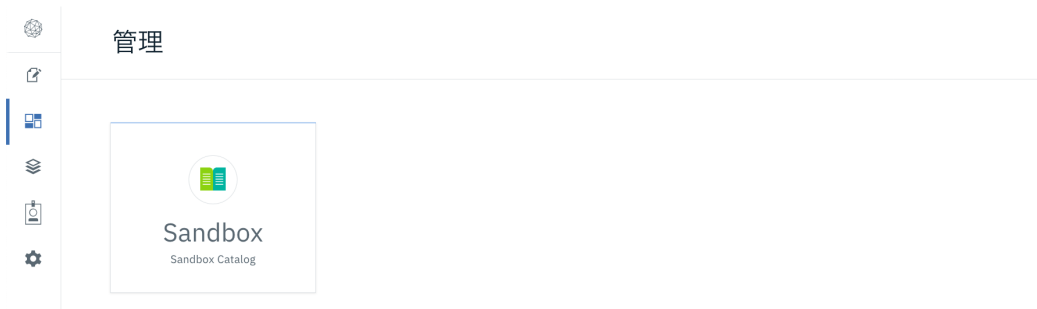


開発者ポータルをすでに有効化している場合には、5.2もしくは、5.3に進んでください。

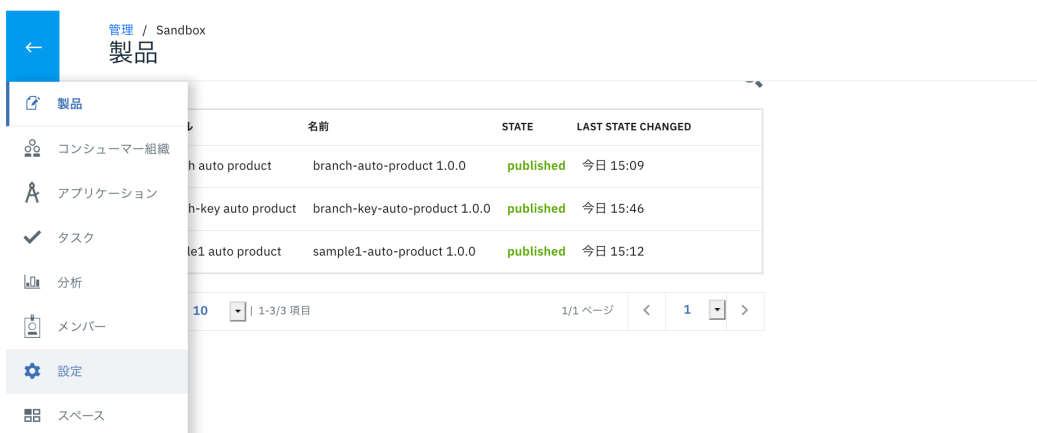
1. 開発者ポータルを有効化していない場合には、有効化します。開発者ポータルはカタログ単位で作成されます。新しいカタログを作成した場合には、開発者ポータルは有効化されていないため、有効化する必要があります。API Managerにログインしていない場合には、ログインします。
2. API Managerの左のメニューから **管理** を選択します。



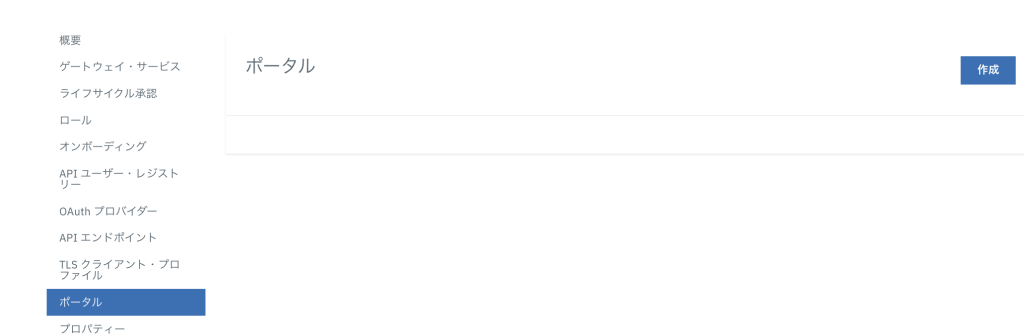
3. Sandbox を選択します。



4. 左側のカタログの管理メニューから 設定 を選択します。



5. 管理 メニューから ポータル を選択し、右側の 作成 をクリックします。



6. ポータル・サービスをプルダウンから選択し、作成 をクリックしてポータルサイトを作成します。ポータル・サービス には、その環境で構成されている ポータル・サービス が表示されます。

ポータル・サイト

カタログ用のポータル・サイトを作成します

このカタログで使用するポータル・サービスの選択

portal1

URL (オプション)

キャンセル

作成

開発者ポータルについて

開発者ポータルのプロビジョニングが開始されました。完了までに数分かかります。すると、ポータル管理者アカウントのパスワードを設定するためのリンクが記載されたEメールが送信されます。

[詳細情報](#)

- 開発者ポータルのプロビジョニングが開始され、メッセージが表示されます。数分で開発者ポータルのプロビジョニングが完了すると、プロバイダー組織所有者にメールが送信されます。

概要

ゲートウェイ・サービス

ライフサイクル承認

ロール

オンボーディング

API ユーザー・レジストリー

OAuth プロバイダー

API エンドポイント

TLS クライアント・プロファイル

ポータル

プロパティ

ポータル

✓ 開発者ポータルのプロビジョニングが開始されました。完了までに数分かかります。完了すると、ポータル管理者アカウントのパスワードを設定するためのリンクが記載されたEメールが送信されます。✕

ポータル・サービス

portal1

ポータル URL

ユーザー・レジストリー

Sandbox Catalog User Registry

- メールに表示されているリンクをクリックして、adminユーザーのパスワード等を設定します。



admin ユーザーは、開発者ポータルの画面のデザインを変更したり設定を変更する開発者ポータルの管理ユーザーです。開発者ポータルをAPI利用者として利用するには、後続の手順で開発者組織の作成とユーザー登録をしなければなりません。

5.2 開発者組織とユーザー登録

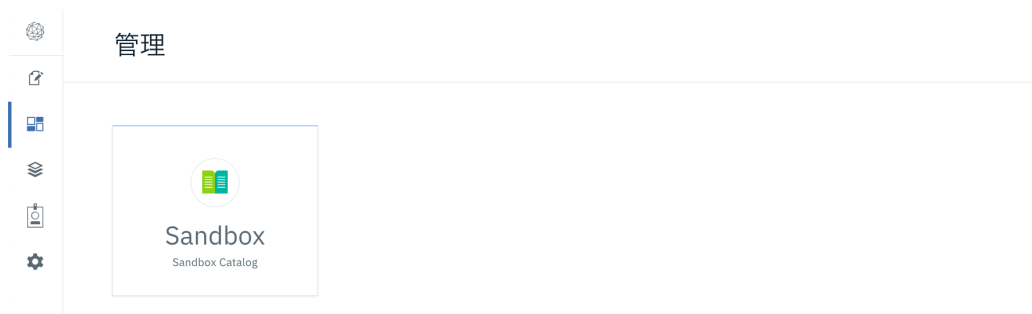


開発者組織作成、ユーザー登録をすでに実施している場合には、5.3に進んでください。

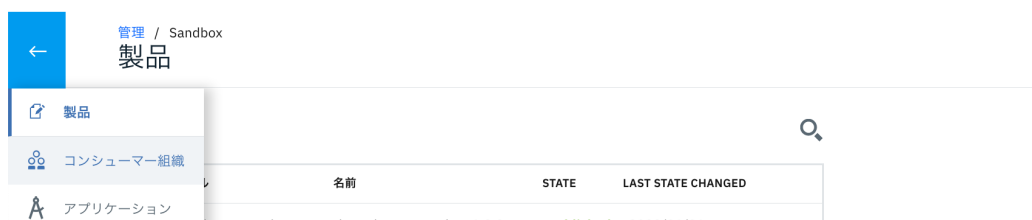
1. API Managerから開発者組織とユーザーを作成します。開発者組織はカタログごとに作成します。API Managerの左のメニューから **管理** を選択します。



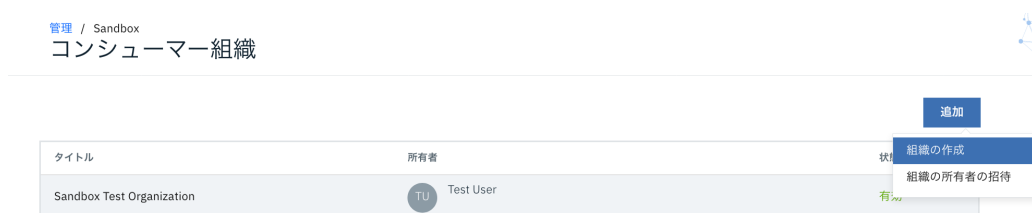
2. **Sandbox** を選択します。



3. 左側のカタログの管理メニューから **コンシューマー組織** を選択します。



4. 右の **追加** ボタンから **組織の作成** を選択します。



5. 組織名やユーザー名、メールアドレス等を入力して、 **作成** をクリックします。ユーザー名や組織名は任意の名前を指定してください。

コンシューマー組織

コンシューマー組織の詳細を入力します

タイトル

dev01

名前

dev01

所有者

コンシューマー組織の所有者を指定します

ユーザー・レジストリー

サンドボックス・カタログ・ユーザー・レジストリー

ユーザーのタイプ

☐ 既存 ☒ 新規ユーザー

ユーザー名

Eメール

*****@*****.*****

名

user01

姓

dev01

パスワード

パスワードの確認


キャンセル

作成

6. コンシューマー組織が作成されました。

管理 / Sandbox
コンシューマー組織

コンシューマー組織 dev01 が作成
されました
dev01.user01 に所有者が割り当てられ
ました
2020年1月28日 火曜日 13:29

タイトル	所有者	状態
dev01	 user01 dev01 apic.2018.hands-on.user00...	有効

7. 作成したユーザーで開発者ポータルにログインしてみましょう。開発者ポータルのURLは、開発者ポータルを有効化したメニューで確認できます。API Manager左のメニューから、管理 > Sandbox > 設定 > ポータル と進み、確認します。

概要

ゲートウェイ・サービス

ライフサイクル承認

ロール

オンボーディング

API ユーザー・レジストリー

OAuth プロバイダー

API エンドポイント

TLS クライアント・プロファイル

ポータル

プロパティ

ポータル

ポータル・サービス
portal1

ポータル URL
[REDACTED]

ユーザー・レジストリー
Sandbox Catalog User Registry

8. ポータルのトップページで サインイン をクリックし、登録したユーザー名、パスワードでログインします。

IBM API Connect
Developer Portal

API 製品 ブログ フォーラム サポート

🔍 アカウントの作成 サインイン



新しい時代の幕開けです
API で未来を創造しましょう。

API をデータ探索やソフトウェア購入に活用することで、これまで以上にクリエイティブに。API の可能性はお客様のアイデアで無限に広がります。

API ドキュメンテーションの探索

API Developer Portal

サインイン

Sandbox Catalog User Registry を使用して
サインインしてください

次を使用して続行

ユーザー名

パスワード

サインイン

admin

または

5.3 開発者ポータルへのログイン

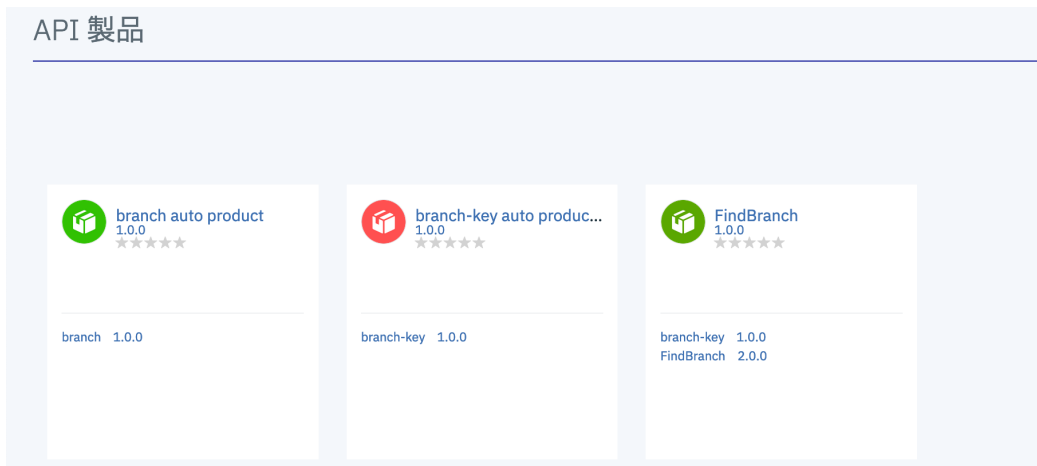
1. 開発者ポータルにログインしていない場合には、ログインします。ポータルトップページにアクセスし、右上の **サインイン** をクリックして、ユーザー名、パスワードを入力してログインします。



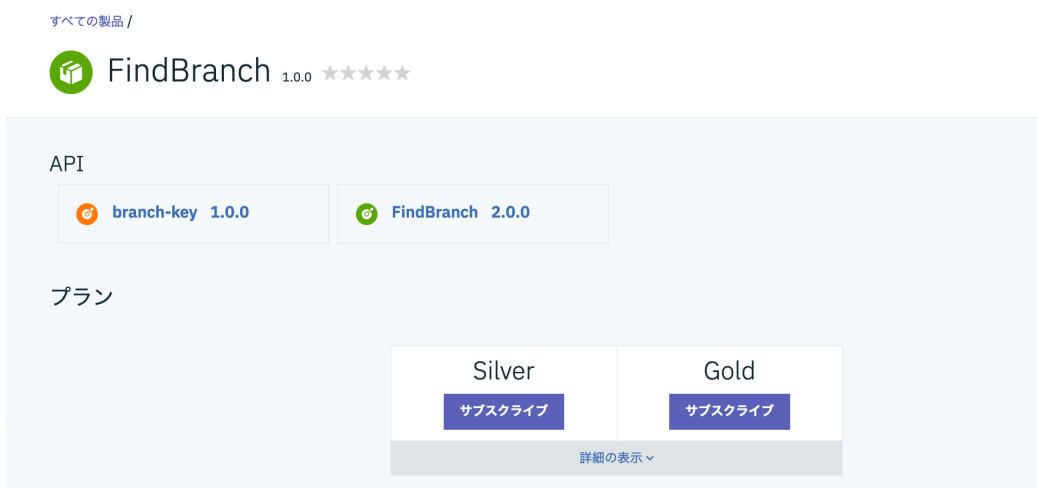
2. **API製品** をクリックして、公開されている製品を確認してみましょう。



3. 公開した製品 **FindBranch** をクリックして確認してみましょう。



4. FindBranch 製品には、2つのAPIが含まれており、2つのプランが設定した通りに表示されています。プランの詳細を確認するために、**詳細の表示** をクリックしてみましょう。



5. プランのレート制限が表示されます。レート制限の表示にマウスのカーソルを合わせると、レート制限の詳細が表示されます。

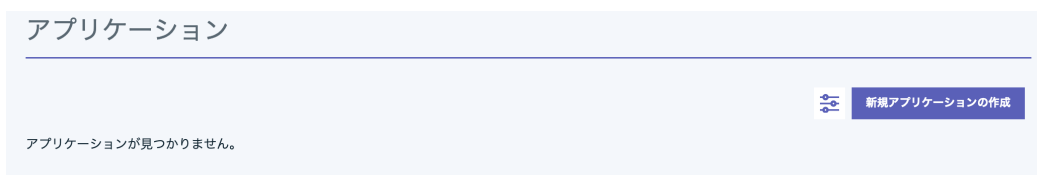


5.4 アプリケーション登録

1. プランへの利用登録を行うためにアプリケーション登録を行います。アプリケーションを登録すると、APIキーとシークレットがポータル上で発行されます。上部のメニューから **アプリケーション** をクリックします。



2. **新規アプリケーションの作成** をクリックします。



3. タイトルに **SampleApp** と入力し、**送信** をクリックします。



4. アプリケーションが登録されると、**APIキー** と **秘密鍵(シークレット)** が表示されます。シークレットはここで一度しか表示されないため、今後のためにコピーして保存しておいてください。

✓ アプリケーションが正常に作成されました。

API キーと秘密鍵

アプリケーションの API キーと秘密鍵が生成されました。

キー

.....

☐ 表示

秘密鍵

.....

☐ 表示

秘密鍵はここに 1 回しか表示されません。API 秘密鍵をコピーし、記録として保管してください。

継続


5.5 プランの利用登録

1. APIを利用するには、プランの利用登録を行う必要があります。API製品 タブをクリックし、FindBranch 製品を選択します。

IBM API Connect Developer Portal


API 製品 アプリケーション ブログ フォーラム サポート

API 製品




branch auto product
1.0.0
★★★★★

branch 1.0.0



branch-key auto produc...
1.0.0
★★★★★

branch-key 1.0.0



FindBranch
1.0.0
★★★★★

branch-key 1.0.0
FindBranch 2.0.0

2. Silver プランに サブスクライブ(利用登録) してみましょう。Silver プランの サブスクライブ をクリックします。

プラン

Silver

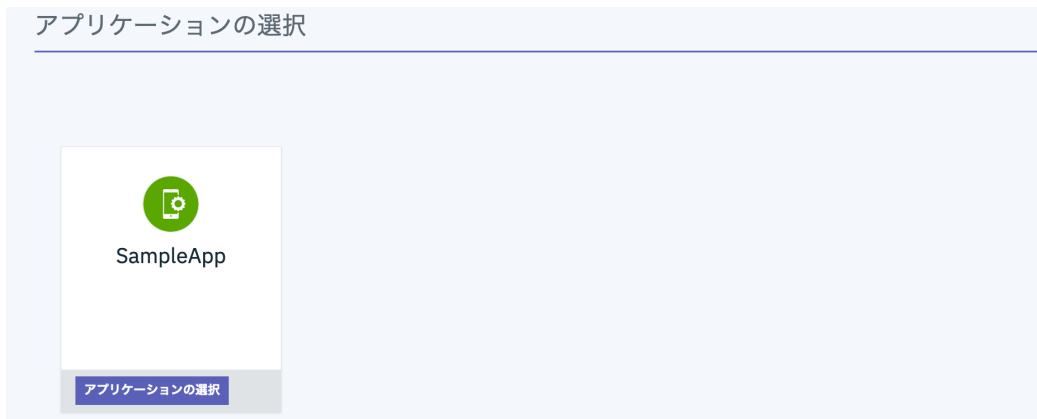
サブスクライブ

Gold

サブスクライブ

詳細の表示

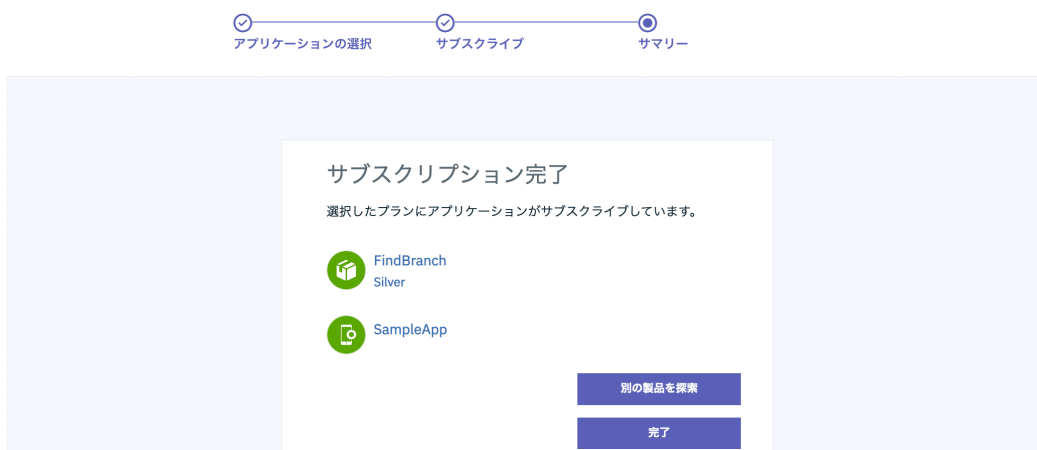
3. 作成した **SampleApp** が表示されるので、 **アプリケーションの選択** をクリックします。



4. 内容を確認して **次へ** をクリックします。

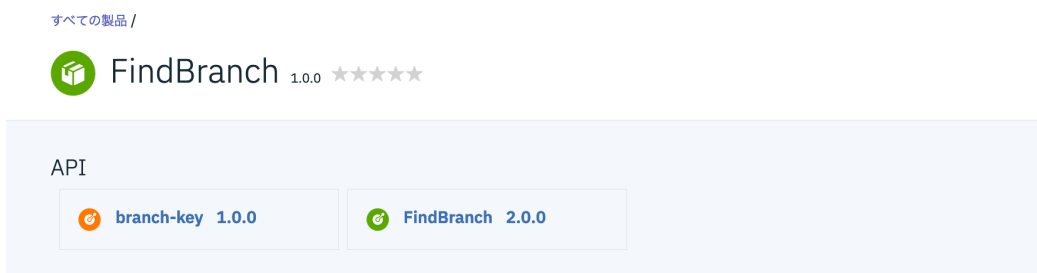


5. **完了** をクリックします。



5.6 APIのテスト実行

1. APIをテスト実行してみましょう。FindBranch 製品の画面からFindBranch APIを選択します。



2. APIの詳細が表示されます。パスの詳細を表示するために、左のメニューからGET /details を選択します。



3. APIのURLや要求や応答の例がこの画面から確認ができます。試してみる をクリックして、APIのテストを行ってみましょう。



4. クライアントID に SampleApp が表示されていることを確認し、送信 をクリックします。

り、レート制限を超えたことにより、APIの呼び出しができなかったことが分かります。

要求	<pre>GET /api/healthcheck HTTP/1.1 Host: 192.168.1.10 User-Agent: curl/7.28.1 Accept: application/json X-IBM-Client-Id: dc3b629792c46f2737f905292ced177a</pre>
応答	<pre>HTTP/1.1 429 Too Many Requests Content-Type: application/json Retry-After: 3418 X-Ratelimit-Limit: 5 X-Ratelimit-Remaining: 0 X-Ratelimit-Reset: 3418 { "statusCode": 429, "httpMessage": "Too Many Requests", "moreInformation": "Rate Limit exceeded" }</pre>

以上で、演習5は終了です。

続いて、 **演習 6 - OAuthセキュリティの実装**に進んでください。